

## きの まさと 木野 正登

経済産業省資源エネルギー庁 廃炉汚染水対策官

昭和43年(1968)、東京都生まれ。

東京大学工学部卒業後、通商産業省(現・経済産業省)入省。2011年3月から

原子力災害現地対策本部兼福島復興局勤務を経て、2013年9月から現職。

原子力災害対策本部 廃炉・汚染水対策現地事務所参事官。

「福島に行ってくれ」と経済産業省からの出向命令で、2011年3月20日、大熊町から県庁に移転したオフサイトセンターに配属。広報班長として、ありとあらゆるプレスに1日に何回も対応。「出荷制限」「線量情報」「避難状況」など、東京からの情報を何とか自分の知識と経験で説明する日々。相馬双葉の漁協へ説明に行ったときは、2時間罵声の中でした。終了後、若い夫婦に「船が流され明日の生活がわからなくて、ひどいことを言ってごめんなさいね」と言われ涙が出そうになりました。避難指示解除についての住民説明会では、「おまえら政府の人間は、説明終了なら東京さ帰っていぐ、わだしらは一生ここだ。家族連れてこっちさ住んでみろ」と言われ、「私ひとりくらい福島に残ろうかな」という気持ちになり、10年います。福島が気に入ったというのもあります。

コメ、野菜、果物、そして魚がとっても美味しい。福島の日本酒にも感動。自然が豊かで温泉もたくさん、福島の人の良さを感じることも多い。今年になって個人的に手づくりの被災地ツアーを始めました。原発と被災地を見て福島を「正しく理解」してもらいたい。このツアーは、ライフワークとしてずっと続けていくつもりです。



木野さん(右から2人目)が案内する被災地ツアー。視察者にタンクの説明をしている